

宿毛ロータリークラブ会報



2015-16 年度テーマ



世界へのプレゼントになろう

■会長	松本 茂	■職業奉仕委員長	増田 博和
■幹事	田淵 満博	■社会奉仕委員長	小栗 学
■SAA	保田 孝司	■国際奉仕委員長	岡崎 利久
■クラブ奉仕委員長	竹葉 良仁	■青少年奉仕委員長	保田 孝司

■例会日：毎週木曜日	12:30~13:30	■事務所	〒788-0003
■例会場：宿毛市幸町	秋沢ホテル		高知県宿毛市幸町 6-43
URL	http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/		TEL 0880-63-3416
E-Mail	sukumorc@mb.gallery.ne.jp		FAX 0880-63-3417

例会報告 第2486回 平成27年9月10日(木曜日) 天気：晴れ

- 例会司会：東副 SAA
- 開会点鐘：松本会長
- Rソング：我等の生業
- ゲスト：

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 松本会長

夏バテ同様に秋バテがあるそうで、夏の間冷房で体を冷やすことで秋になって倦怠感、食欲不振、睡眠不足等夏バテに似た症状がでるようです。

タイプが二つあり、燃え尽き型タイプ。体力があるため夏場は元気に過ごし自覚症状はありませんが秋になると不調が出るタイプ。

もう一つはただならぬ不調型。胃腸が弱く体力がない人が多く、高温多湿のストレスや室内外の温度差、秋口の朝晩の寒暖の差が加わってだらだらと長引く方です。

対処としては自立神経のバランスの回復と体を温めてリラックスすることだそうです。

■幹事報告 竹田副幹事

■ガバナー事務所より：

会員増強・クラブ研修リーダー育成セミナー出席のお礼状

RYLA学友会総会のご案内

RYLA学友のつどい開催のお知らせ

ローターアクト研修会並びにアジア太平洋地域ローターアクト会議登録のご案内

■中村RCより：

米山奨学生を招いての3クラブ合同例会について

10月21日(水)に決定

例会変更のお知らせ

■四万十RCより：例会休会のお知らせ

■宿毛市より：

平成27年度宿毛市政功労・善行表彰候補者の推薦について

例会終了後臨時理事会を開催します。

欠席届 15名

■誕生日・結婚記念日

9月誕生日 有田会員

■委員長報告

西田ガバナー補佐

9月6日松本会長と徳島へ会員増強・クラブ研修リーダー育成セミナーに出席。

どのクラブも会員増強に困っています。

山田ガバナーも会員増強に力を入れてほしいといっていました。

先月の公式訪問のお礼を皆様に伝えて下さいといっていました。ガバナー補佐としての訪問予定は事務局の立石さんをお願いしています。ありがとうございます。もう少しですので協力の程お願いします。

松本会長

クラブ研修リーダー育成セミナーに出席。

出席率の目標は80%。メイキャップは難しいと思いますが理事会等の出席も出席となりますので宜しくお願いします。会員の維持、退会防止はサポート会員の声かけやクラブ内に同好会等を作り楽しめるクラブ作りをする等の話がありました。

ロータリーの森担当竹田委員長

最近ロータリーの森の管理が出来ていけませんので13日に現地の状況を確認して草刈り等を実施したいと思いますのでご協力をお願いします。

田淵幹事

会員増強・クラブ研修リーダー育成セミナーに出席出来ませんでした。資料を報告致します。

クラブ研修リーダー育成セミナーは昨年から開催されたセミナーです。

会員数の少ない弱小クラブでも奉仕団体として自立していくための最少限度の管理組織。

また大きなクラブもこれを基礎とし必要に応じて常任委員会を加え、また小委員会を付加できる管理組織を想定したものがクラブリーダーシッププランです。

責務としては、会員のニーズ調査。

クラブ会員が何かをする為にクラブ目標を分析する。

前項二つの責務を遂行するために研修を企画。

新会員にオリエンテーションを実施するために会員増強委員会と協力する。

会員候補を教育するために会員増強委員会と協力する。前会員に継続的な教育を提供することを目的し毎週のプログラムを計画するためにクラブ管理運営委員会と協力する。

募金活動や財団への寄付について会員を教育するため

に財団委員会とともに活動する。
クラブ会員がロータリーとは何かを説明できるようにする
ためクラブ広報委員会と協力する。
次期指導者が地区研修のために準備を整えるよう協力する。
リーダーは単年度ではなく会長経験者や長年在籍している
会員が良いそうです。

■プログラム 竹田企画委員長

有田会員



祖父は宿毛市神有、祖母は橋上の出身で私は大月町の出身です。
東京で3年間製造工場勤務後、ホームドラマのケーキ屋ケンちゃん撮影のお店で修業をして24年前に宿毛市に洋菓子店を出しました。

趣味は沢山ありますが料理です。ライフワークとして食品指導員をしています。

洋菓子店の名前はタン・プル・タン。

意味はフランス語で「半分ずつ」。

フランス菓子の専門用語では、アーモンド粉と粉糖を同割で混ぜたものをいいます。

当時電話帳では有田の性が多いのでタン・プル・タンの名前を付けました。

当店で購入される方の半分以上は贈呈用として購入されます。

買った方にも当然喜ばれますが受けとった方にも喜んでいただけるように取り組んでいます。

最近小学校でお話しをする機会が多々ありますが、一番多い質問は、残ったお菓子はどうするのです。

これは明日の天気等を考えて残らないように作ります。

従業員の中で独立した方が4人いますが数年前にタン・プル・タンベビーブームがあり製造スタッフ5人中3人が産休に入り大変な時期がありましたが皆の協力で乗り切りました。

子育て支援をもっともっと充実して頂きたいと思います。



■出席報告

60. 70%